

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	74	地域振興事務経費	会計	01	一般会計
基本施策	61	市内外から多様な主体を受け入れる開かれたまちを	款	02	総務費
			項	01	総務管理費
			目	06	企画費
担当部課名	阿山支所 総務振興課			細目	102 地域振興経費
作成者氏名	森岡 良夫	連絡先	0595-43-1543	細々目	01 地域振興事務経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)				
	支所管内のまちづくり活動を行う市民	市民と行政が協働して総合計画の地区別計画を実践することにより、地域の課題が解消される。				
本年度事業内容	市民による自主的なまちづくり活動ができる環境をつくる					
開始年度	平成	年度	終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
投入人員	正規職員 (人)	0.1	0.1	
	人件費合計(A)	720	720	0
支出内訳(千円)	事業費(B)	110	2,714	0
	委託料			
	需用費	110	206	
	旅費		8	
	その他		2,500	
合計(A+B)		830	3,434	0
財源内訳(千円)	特定財源			
	国庫支出金			
	地方債			
	受益者負担		2,500	
一般財源	830	934	0	
上記 ~ に関する特記事項				
H18年度 コミュニティ助成事業により阿山赤松太鼓に太鼓購入補助の通り抜け2,500千円計上				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
			目標 ( )		
			目標 ( )		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

合併後、地域振興課が新設され地域振興事務経費は課用公用車の経費や消耗品の購入など、総務的な目的に充てられてきた。課の統廃合により総務振興課となり、総務的な科目の必要性が薄れている。  
19年度は一般管理費で対応し、突発的なことがない限り予算は要求しない。

評価	必要性	3	市民の自主的なまちづくり活動を推進するため、活動が行いやすい環境をつくるとともに支援を行う。	総合評価 <b>D</b>
	有効性	3		
	達成度	3		
	効率性	2		